

令和7年度 第1回  
金沢市DX会議





開会

## 1 座長選出

## 2 報 告

- ・ 報告事項1 令和7年度 機構改革に関して
- ・ 報告事項2 DXアクションプランの進捗について

## 3 議 事

- ・ 議 題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

## 4 意見交換

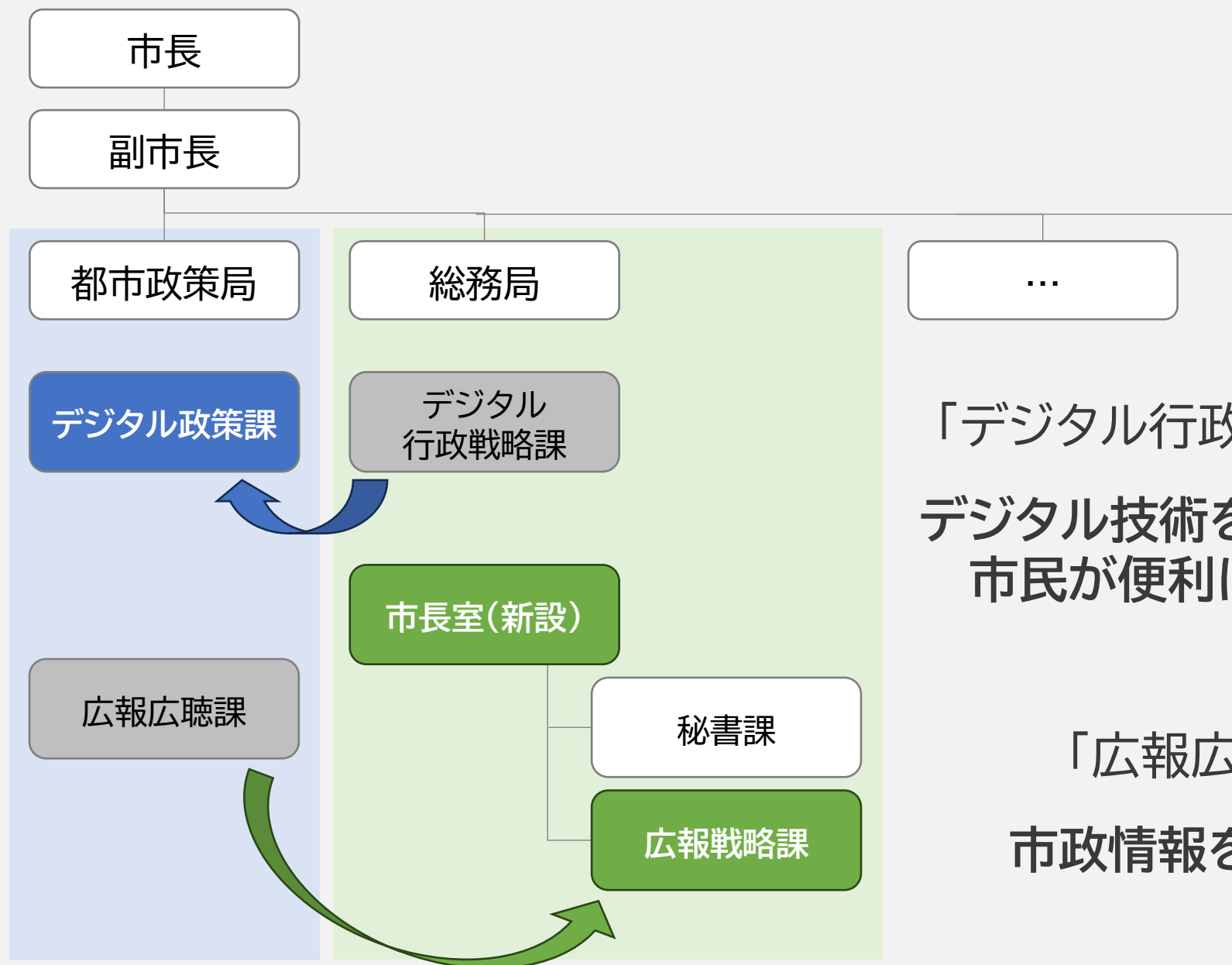
閉会

氏名	所属団体・役職等
稲継 裕昭	早稲田大学 政治経済学術院 教授
浦田 真由	名古屋大学 大学院情報学研究科 情報学部 人間・社会情報学科 准教授
大島 葉子	日本マイクロソフト株式会社執行役員 政策渉外・法務本部長
中沢 実	金沢工業大学 情報理工学部 情報工学科 教授 同大学 AIラボ所長
福島 健一郎	一般社団法人 コード・フォー・カナザワ 代表理事
宮内 康範	一般社団法人 石川県情報システム工業会 副会長 新ビジネス創生部会長

# 報告事項1

令和7年度 機構改革に関して

## 報告事項1 令和7年度 機構改革に関して



「デジタル行政戦略課」→「デジタル政策課」

デジタル技術を活用した多様な施策を通じて  
市民が便利に暮らせるまちづくりを推進

「広報広聴課」→「広報戦略課」

市政情報を効果的かつ積極的に発信

## 報告事項2

DXアクションプランの進捗について

産業

生産性の向上と価値の創造

少子高齢化が進み経済の停滞が危惧される中、デジタルによる変革を進め生産性を向上させることが重要です。デジタルによる新たなサービスを生み出し続けることで、産業の活性化と市民生活の利便性向上を図るため、デジタル技術を活用した新たなサービスの展開を進めるほか、民間企業等のデジタル人材の育成に取り組みます。

- Web3.0技術の利活用を進めます
- 便利な移動サービスの提供を進めます
- 観光DXを進めます
- 産業のDXを支援します
- 農業や林業のスマート化を推進します

→ 5つの大項目、18の小項目  
※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 16項目  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … 2項目

重要業績評価指標(KPI)	目標(2025)	暫定値
		2024
DXに取り組む企業・団体数  【主な指標】・中小企業DX相談窓口 相談件数 ・中小企業スマートワーク導入支援件数	200 件	約 170 件

# 資料1－① DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

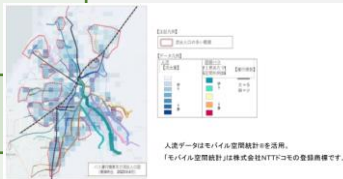


## ○ Web3.0技術の利活用を進めます

	2023	2024	2025
産学官連携によるWeb3.0技術の社会実装の促進【産業政策課】	支援	支援	支援
「先端デジタル技術活用促進事業」により最先端技術に関する知識を活用した事業を支援(委託・補助上限3,000千円) 2023:スタートアップ2事業 2024:スタートアップ2事業、フォローアップ1事業 2025:フォローアップのみ募集予定 「産学連携先端デジタル技術実装事業」により大学等高等教育機関の最先端技術に関する知見を活用した事業を支援 2025:本市の社会課題の解決をテーマに募集予定			
メタバースを活用した金沢の文化や伝統の発信【産業政策課】	モデル事業実施	拡大検討	拡大検討
2023:「北陸新幹線金沢～敦賀間開業記念デジタルイベント」にて、メタバース上でイベント当日のライブ配信を実施			

## ○ 便利な移動サービスの提供を進めます

金沢MaaSによる便利な移動サービスの提供【交通政策課】	拡大	拡大	拡大
「のりまっし金沢」の運用及び機能・UI等の改良、「金沢まちなか交通ガイド」のデジタル化等を実施 2025:「のりまっし金沢」と「まちなか」のAPI連携、広域連携サービスの実装化に向けた調査検討を予定			
交通データ活用による新たな交通施策の検討【交通政策課】	検討	実施	実施
2023:路線バス乗降データ、「まちなか」利用データ、人流データ等を組み合わせて分析し、施策立案に活用 2024:「第3次交通戦略」指標のダッシュボードを作成し進捗状況等を可視化、交通手段分担率の新指標を開発 2025:引き続きデータの可視化により公共交通の利用促進策を検討、データ分析ツールの本格運用を開始予定			





# 資料1－① DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ 便利な移動サービスの提供を進めます

2023

2024

2025

公共交通利用キャッシュレス決済導入【交通政策課】

導入

拡充

拡充

2023～2024:北陸鉄道バス40台、周遊バス7台、空港リムジンバス9台、路線バス238台、能登特急バス15台に  
クレジットカード・デビットカード・二次元コード決済を導入

デジタルサイネージを活用したモビリティハブの整備【交通政策課】

検討

検討

実施

2025:デジタルサイネージ等の整備に対し支援を予定（対象:香林坊(アトリオ前)バス停、金石バス停）

## ○ 観光DXを進めます

快適な観光の提供に向けたデータ利活用の検討【観光政策課】

実施

拡大検討

拡大検討

2023～2024:人流データを活用し「かなざわ観光快適度マップ」(混雑度マップ)を金沢市観光公式サイト「金沢旅物語」に掲載  
2025:市内6地点にライブカメラを設置しリアルタイム混雑状況配信、「かなざわ観光快適度マップ」の多言語対応

観光データを活用した地域全体のデジタルマーケティング推進【観光政策課】

検討

実施

実施

2024:宿泊データの収集・分析を行う仕組みの構築、人流データ分析・Webマーケティングの強化を実施

2025:宿泊データを外部データと組み合わせた多角的分析の実施、データ項目の増強、データマーケティングの人材育成を予定

公衆無線LANのオープンローミング化の検討【デジタル政策課】

－

検討

検討

利便性向上及び金沢の魅力発信に繋げるため、「KANAZAWA FREE Wi-Fi」のオープンローミング化を検討(2023実証実験)



## 資料1－① DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ 産業のDXを支援します

	2023	2024	2025
最先端技術を活用したデジタル機器を体験する機会の提供【産業政策課】	実施	実施	実施
最先端機器の展示スペース設置、最先端機器の体験セミナー実施(2025は常設展示を取りやめ、セミナーに一本化)			
中小企業のDX化支援窓口の設置【産業政策課】	設置	実施	実施
中小企業等のDX化を進めるため、中小企業が迅速かつ身近に相談できる窓口を開設(2023.6～) 相談者数 2023:のべ76人 2024:のべ87人			
中小企業へのスマートワークの導入支援【商工労働課】	検討	実施	実施
ICTを活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方の導入に対する取組を支援 ・スマートワーク導入支援助成金(助成上限2,000千円) 2023:採択2社(応募3社) 2024:採択3社(応募4社) ・スマートワーク推進のための企業向けセミナーを開催			
生成AI等を活用した卸売業のデジタル化支援【商工労働課】	検討	実施	実施
本市卸売業団体が実施する、デジタル化の推進やひとづくりの促進に繋がる事業を支援(補助上限500千円) 2023:1団体 2024:1団体			
商店街のデジタル活用推進支援【商工労働課】	－	検討	実施
2025:「商店街DX化研修会」を開催予定(年10回程度、キャッシュレス・データマーケティング・ChatGPT活用など)			



# 資料1－① DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ 農業や林業のスマート化を推進します

	2023	2024	2025
レーザーセンシング技術を活用したスマート林業の推進【森林再生課】	実施	推進	推進
市内全域の森林情報(地形、樹種、資源量、路網等)を航空レーザで計測・データ解析し、県クラウド上に掲載することで、林業経営や森林管理に活用(石川県森林クラウド年間アクセス数 2023:約250件 2024:約360件)			
AI技術を活用したスマート林業の推進【森林再生課】	検討	実施	実施
AIを活用し木材(立木)の品質を評価・判別するシステムを開発 2024～2025:現地調査、精度向上のための研究開発、ユーザービリティの向上を検討			
ドローンやAI等を活用したスマート農業の実証【農業水産振興課】	実証	実証	実証
スマート農業機械等の導入に向けた現地実証等に支援(補助上限500千円) 2023:AI解析による生育診断システムの試験 など 2024:自動害鳥忌避システムの試験利用 など 2025:水田用給水バルブや気象センサー、AIかん水施肥システム等を利用したスマート農業の実証			
スマート農業機械等の導入支援【農業水産振興課】	検討	実施	実施
スマート農業機械等の導入に支援(補助上限1,000千円) 2024:一輪車電動化キット、環境モニタリングシステムの導入支援 2025:一輪車電動化キットの導入支援			

地域

住民相互の交流と連帯意識の醸成

人口減少・少子高齢社会において、コミュニティの希薄化は喫緊の課題です。デジタル技術の活用により、誰もが地域活動に参加しやすい、人とつながりやすい取り組みや、市民が自ら課題を解決するシビックテックの取り組みを推進します。そうした取り組みを通じて、すべての人がデジタルのメリットを受けられる社会をめざします。

- デジタル技術を活用した地域活動の活性化に取り組みます
- デジタル技術を活用した地域課題の解決を推進します
- ダイバーシティ・インクルージョンを推進します
- 医療DXに取り組みます
- 住民の健康増進に取り組みます
- デジタルデバイドの解消に取り組みます
- マイナンバーカードを地域活性化に活用します
- 移住・定住プロモーションを推進します

→ 8つの大項目、16の小項目  
※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 16項目  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … なし

重要業績評価指標(KPI)	目標(2025)	
		暫定値 2024
地域DXへの参加者数  【主な指標】・シビックテック関連イベント参加者数 ・「マッチ箱」参加者数	300人	約360人



## 資料1－② DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

地域

### ○ デジタル技術を活用した地域活動の活性化に取り組みます

2023

2024

2025

#### 町会活動のデジタル化の推進【市民協働推進課】

推進

推進

推進

地域活動発信アプリ(結ネット等)の普及促進のため、試用版提供、補助金による支援、導入説明会への学生ボランティア派遣等を実施  
2025:「結ネット」の防災機能拡充

#### 地域団体へのデジタルツール活用講座の開催【市民協働推進課】

実施

拡大

拡大

2023:地域活動デジタル活用講座 5回開催、計51名参加(ZoomやGoogleサービスなどの活用方法等)

2024:地域デジタルリーダー養成講座 3回開催、計52名参加(LINE・Googleサービス・ChatGPTの活用方法等)

### ○ デジタル技術を活用した地域課題の解決を推進します

#### シビックテックの推進【市民協働推進課】

推進

推進

推進

・地域課題の解決に向けたディスカッション、協働プロジェクトチームの結成を支援

2024:プロジェクトチームより企画書2件提出あり

・シビックテックスクール:デジタルツール等の市民向け講座開催 2023:4回開催、20名参加 2024:3回開催、のべ61名参加

・データを活用を学ぶ講座・イベントの開催 2023:20名参加 2024:33名参加

・シビックテックミーティング 2023:26名参加 2024:27名参加

#### 地域課題解決プラットフォームの提供【市民協働推進課】

開始

推進

推進

地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用(2023.7～)

2023:25課題投稿、109名参加 2024:31課題投稿、175名参加(2023～の累計)

#### 地域課題解決につなげる交流会の開催【市民協働推進課】

検討

実施

実施

課題を抱える市民等と解決アイデア等を持つ市民等がつながるための交流会開催

2024:2回開催

## 資料1－② DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

地域

### ○ デジタルデバイドの解消に取り組みます

2023

2024

2025

#### 地域スマホ講座の開催【デジタル政策課】

実施

拡大

拡大

2023:計140コマの講座開催、のべ1,489名が参加 2024:計120コマの講座開催、のべ1,138名が参加

#### 障害のある人へのデジタルツール活用支援【障害福祉課】

実施

拡大

拡大

・スマートフォン・パソコンに関する利用相談窓口を開設(2023.9～月2回程度)

利用者数 2023:9名 2024:19名

・障害のある当事者で構成するチームで情報取得等に係る施策を検討(年1回)

・障害種別に対応したスマートフォン研修会を開催 2023:のべ48名参加 2024:のべ26名参加

### ○ ダイバーシティ・インクルージョンを推進します

#### SNSやオンライン等を活用した多様な相談支援の実施【ダイバーシティ人権政策課】

実施

拡大

拡大

・SNS相談「女性相談@金沢市」(2023.8～2024.1) 相談件数281件 ※2024以降は同様の事業を石川県が実施

・ZOOMによるオンライン女性相談(2023.8～) 2023:4件 2024:4件

#### 産学官連携による最新技術を活用した障害のある人へのコミュニケーション支援の検討【障害福祉課】

実施

拡大

拡大

2023:福祉と健康の総合窓口において、UDトーク(コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ)を実証実験

2024:UDトークの総合窓口への本格導入(利用件数20件)、手話動作翻訳アプリの実証実験

2025:UDトーク導入機器を追加購入し、庁内貸出用として整備予定

#### eスポーツを活用した障害のある人の社会参加促進【障害福祉課】

検討

モデル事業実施


拡大

2024:障害者福祉施設において子ども向けeスポーツ出張体験会をモデル実施

2025:障害のある方の社会参加促進のため、eスポーツ体験会等の開催に対して補助金交付を予定

資料1－② DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

○ マイナンバーカードを地域活性化に活用します

	2023	2024	2025
マイナンバーカードを活用したスマートサービスの導入【デジタル政策課】	導入	拡大	拡大
<div> <div> 2023:電子カードアプリ「カナカ」の構築・運用開始  2024:対応カードを追加(のべ約210ダウンロード)  2025:デジタル市民パスポートに統合、さらなる機能拡充を予定 </div> <div>  </div> </div>			

○ 医療DXに取り組みます

	2023	2024	2025
金沢市立病院における医療DX実現に向けた計画策定【市立病院事務局】	—	検討	策定
医療DXに関する国の動向や他病院の現状等を調査し、市立病院医療DX基本計画を策定・実施			

○ 移住・定住プロモーションを推進します

	2023	2024	2025
デジタルを活用した移住希望者への効果的な情報発信【地域力再生課】	検討	実施	実施
<div> 2023:オンライン移住セミナー・移住者交流会の試行開催 ほか  2024:オンライン移住セミナーの開催、SMOUT・WEBターゲティング広告・公式インスタグラムの活用、移住ポータルサイトの一新  2025:金沢在住のSNSインフルエンサーによる移住PRを実施予定(オンライン移住セミナー、その他情報発信も継続実施) </div>			
SNS等を活用した移住・定住支援【地域力再生課】	—	検討	実施
2025:チャットボットやSNSを活用した移住相談を実施予定			



○ 住民の健康増進に取り組めます

2023

2024

2025

健康アプリを活用した住民の健康増進【健康政策課】	検討	実施	実施
健康づくりの活動に対してポイントを付与するスマートフォンアプリを導入し、一定ポイント獲得者に抽選で電子ギフト券を提供 アプリで収集したデータを政策形成にも活用 2024:「かなざわ健康ポイント」アプリの構築・提供開始(2024. 10～)、利用者約2,660人 2025:金沢ウォーク・金沢マラソン等とも連携した利用者増施策を実施予定			
eスポーツによる未病対策【健康政策課】	－	検討	実施
2025:eスポーツを活用した未病対策イベントを開催予定			





## 報告事項2 DXアクションプランの進捗について：重点4分野(③文化)

### 文化

#### 「文化都市 金沢」を推進

藩政期から連綿と受け継がれる伝統文化や伝統工芸から、金沢21世紀美術館をはじめとする現代美術やスポーツまで、様々な「文化」を受け継ぎ、発展してきた都市としての誇りと責任を未来につないでいくため、デジタル技術を活用し、文化・芸術・スポーツに触れる豊かな暮らしを創出し、その裾野を拡大する取り組みを進めます。とともに、まち全体で文化・芸術・スポーツを育むまちづくりをめざします。

- デジタルミュージアムを構築します
- Web3.0技術の利活用を進めます
- 持続可能な文化運営環境を検討します
- 文化の継承と活用を推進します
- 文化イベントに最先端技術を活用します


→ 5つの大項目、8つの小項目(うち、再掲1項目)

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … **6項目**  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … **2項目**(うち、再掲1項目)

重要業績評価指標(KPI)	目標(2025)	暫定値
		2024
文化関係デジタルコンテンツの閲覧数 【主な指標】・金沢ミュージアム+のビュー数	17 万件	約 20 万件

# 資料1-③ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ デジタルミュージアムを構築します

デジタルミュージアムによる新たな文化体験の提供【文化政策課】	2023	2024	2025
<p>市文化施設の所蔵品を公開するウェブサイト「金沢ミュージアム+（プラス）」を運営し、市民や観光客、研究者等が最先端技術を通して金沢の文化に触れる機会を提供</p> <p>2023:10月～3月にかけて17の文化施設、6種のスペシャルコンテンツ(所蔵品の3D・AR、高精細画像等)を順次公開</p> <p>2024:サイト機能拡充、追加コンテンツ制作・公開のほか、子ども向けワークショップの開催、ジャパンサーチ(国プラットフォーム)との連携、新規インターネット回線・Wi-Fi整備など文化施設のデジタル環境改善、英語対応作業</p> <p>2025:英語版の公開、金沢21世紀美術館の所蔵品公開、オンライン展覧会の開催</p> <p>SNSでの発信強化、教育現場での活用方法検討 などを予定</p>	公開	運用・拡大	運用・拡大
<div> <div> <div>デジタルの金沢市の多彩な見て触れて</div> <div>デジタルの金沢市の多彩なコレクション感じて</div> </div> <div>  </div> </div> <div> <div>スペシャルコンテンツ</div> <div> <div>立体で見る</div> <div>拡大して見る</div> <div>音を聴く</div> <div>書の内容を読む</div> </div> </div>	<div> <div>金沢ミュージアム+</div> <div>QRコード</div> </div>		
<div> <div>・所蔵品のデジタルアーカイブ件数</div> <div>2023:57,100件</div> <div>2024:73,880件</div> </div> <div> <div>・金沢ミュージアム+での所蔵品公開件数</div> <div>2023:16,048件</div> <div>2024:30,525件</div> </div> <div> <div>・サイトビュー数(累計)</div> <div>2023:112,620ビュー</div> <div>2024:200,389ビュー</div> </div>			

## ○ 文化の継承と活用を推進します

埋蔵文化財のデジタルアーカイブ化【文化財保護課】	検討	実施	実施
<p>2024:デジタルアーカイブシステム導入及び出土品データベース登録、出土品の3D撮影を実施(公開は2026以降)</p> <p>2025:出土品のデータベース登録・3D撮影を継続実施予定</p>			
<div> <div>・所蔵品のデジタルアーカイブ件数</div> <div>2024:714件</div> </div> <div> <div>・出土品の3D撮影件数</div> <div>2024: 6件</div> </div>			
美術工芸大学資料等財産のデジタルアーカイブ化【金沢美大事務局】	実施	実施	実施
<p>2023:大学で収集した美術・工芸・デザイン関連資料をデジタルアーカイブ化して広く市民に公開</p> <p>2024:新規購入・寄付採納を受けた所蔵品について、データベースへの追加登録作業を実施</p>			

## 資料1－③ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

文化

### ○ 文化の継承と活用を推進します

2023

2024

2025

工芸文化の継承・発展を目的とした工芸データベースの提供【金沢美大事務局】

運用・拡大

運用・拡大

運用・拡大

「平成の百工比照」収集事業で収集してきた6,300点を超える資料、4K画質による工芸技術記録映像等を、新キャンパスの美術工芸大学図書館・美術館内において広く市民に公開

2023:「百工比照展示・閲覧コーナー」内に来場者向け再生システムを設置、4K画質による工芸技術記録映像を公開

2024:新たに動画3本を公開し、資料の扱い方や活用方法をわかりやすく紹介

2025:「平成の百工比照」収集事業による資料収集とデータベース充実を推進予定

### ○ Web3.0技術の利活用を進めます

2023

2024

2025

メタバースを活用した金沢の文化や伝統の発信(再掲) →

産業

モデル事業実施

拡大検討

拡大検討

文化、芸術、観光分野等へのNFTを活用した魅力向上【デジタル政策課、文化政策課】

検討

試行

実装

2024:「金沢アカペラタウン2024」出演者にNFTを配布

### ○ 文化イベントに最先端技術を活用します

最先端技術を活用した文化イベントの開催【産業政策課】

実施

—

—

2023:北陸新幹線敦賀延伸記念デジタルイベントを開催(IOWNを活用した遠隔音楽ライブ、鼓門のライトアップ、ゴーグル不要の新感覚VR体験会、音楽ライブのメタバース等によるLIVE配信)

### ○ 持続可能な文化運営環境を検討します

DAOなどのWeb3.0技術を活用した文化運営環境の検討【文化政策課】

検討

検討

検討

国の動向や法整備等の状況を注視し、引き続き検討

教育

誰もが学び成長

「学び」は学生固有のものではなく、あらゆる世代に共通するものであり、多くの人の学びが、結果として地域の幸福度を向上させます。デジタルの知識や技術を学ぶことはもちろんのこと、デジタル技術の活用により、気軽に質の高い学びができる環境も広がっています。小中高生をはじめ、企業人や高齢者、障害のある方すべての人が学ぶことのできる環境の創出に取り組めます。

- 小中高生へのデジタル技術の学習機会を提供します
- 企業におけるデジタル人材育成を促進します
- 地域のデジタル人材育成を促進します
- 教育分野のビッグデータ利活用を推進します
- 教育分野のデジタル活用を推進します
- 誰もが学ぶことができる機会を提供します
- Web3.0技術の利活用を進めます

→ 7つの大項目、15の小項目(うち、再掲3項目、統合1項目)  
※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 15項目(うち、再掲3項目、統合1項目)  
「モデル実施」・「検討」にとどまるもの … なし

重要業績評価指標(KPI)	目標(2025)	
		暫定値 2024
各事業の参加人数  【主な指標】 ・デジタル技術の学習機会の提供 参加人数 ・地域スマホ教室 参加人数	2,000 人	約 3,200 人



資料1－④ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

○ 小中高生へのデジタル技術の学習機会を提供します 2023 2024 2025

子供の興味・関心・意欲・技能に合わせた学びの機会の提供【産業政策課】	実施	実施	実施
ITビジネスプラザ武蔵をプログラミング教育の拠点とし、大学等高等教育機関や民間企業等と協働して様々な学びの機会を提供 ・「かなざわSTEAMラボ」:教科横断的なSTEAM教育としてプログラミング等の講座を実施 2023:のべ130人参加  2024:のべ91人参加 ・「キッズ・ミドルプログラミングスクール」:子供の興味関心を育むプログラミング体験スクール 2023:3回開催、のべ137人参加  2024:2回開催、のべ100人参加			
金沢IT部活による高度なプログラミング学習の実施【産業政策課】	実施	実施	実施
産学官連携により、中高生を対象としたロボット教室を開催し、新産業を創出する次世代の担い手を育成 ・「金沢IT部活」:テクノロジーを使った課題解決に挑戦、思考力や想像力を伸ばし、将来のキャリアや進路を設計する場を提供 部員数  2023:30人  2024:19人  2025:25人 ・「金沢ロボ活」:ロボットコンテスト挑戦を目標としたロボット作成やプログラミング教育を実施 部員数  2023:15人  2024:24人  2025:28人			
次世代のドローン人材を育成【産業政策課】	検討	実施	実施
2024:中高生を対象としたワークショップを開催、8名参加 2025:ワークショップ対象者を中高生から小中学生に変更して開催予定			
次世代のICT人材を育成【産業政策課】	検討	実施	拡大
ITビジネスプラザ武蔵を小学生から大学生までの次世代人材育成拠点として機能強化 2024:「金沢IT部活アカデミーベンチャー」活動開始(IT部活卒部生6名、大学生5名)、協賛企業等と連携し共創プロジェクトを実施 2025:「金沢IT部活ベンチャーズ」と名称変更し、専門人材を配備し、質の高いものづくり・アントレプレナーシップ教育を実施予定			
デジタル科新設による学習機会の拡大【学校指導課】	－	検討	実施
2025:小学校「プログラミング学習」、中学校「データ活用探求学習」「先端技術体験」、小中学校「デジタルシチズンシップ教育」を予定			



## 資料1－④ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

### ○ 企業におけるデジタル人材育成を促進します

2023

2024

2025

企業のデジタル人材育成促進のためのリスキリング推進【産業政策課】

実施

実施

実施

中小企業等における若手デジタル人材の育成を促進するため、ITパスポート試験等への受験手数料・対策講座受講料を支援  
2023～2024:申請0件

### ○ 地域のデジタル人材育成を促進します

大学連携による地域人材のリスキリング支援【地域力再生課】

支援

支援

支援

地域に必要な人材確保のため、大学が実施する社会人向けリスキリング講座の受講料等の一部を助成(上限20千円)  
2023:17件 2024:2件

### ○ 教育分野のビッグデータ利活用を推進します

GIGAスクール端末等の蓄積データ利活用の検討【学校指導課】

検討

「データ利活用による不登校対策の強化」  
に統合

2023:モデル校4校にて学習系システム・校務系システムを連携し、「心の健康観察」の試験運用を実施

データ利活用による不登校対策の強化【学校指導課】

－

実施

実施

「心の健康観察」システムを導入し、児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSの早期発見・早期支援を推進  
2024:全市立小・中学校で運用開始

○ 教育分野のデジタル活用を推進します

2023

2024

2025

デジタル活用による特別支援教育プログラムの強化【学校教育センター】	検討	実施	実施
障害の有無にかかわらず、多様性を受け入れ、児童生徒一人一人の個性や才能を引き出していく特別支援教育を推進 ・ICTを活用した読み書き支援プログラムの実施 2024:28名参加 ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒のための支援ソフトを導入 など			
デジタル通学路マップによる安心安全の提供【教育総務課】	検討	実施	実施
オープンデータとして提供可能な通学路及び通学区域のレイヤーを作成 2024:通学路図等のデジタル化、オープンデータ公開 2025:まちづくり支援情報システム等での運用開始予定			
メタバースを活用した教育支援体制の構築【学校教育センター】	検討	検討	実施
メタバースを活用したオンライン支援体制を構築し、体験会を実施予定			

○ 誰もが学ぶことができる機会を提供します

地域スマホ講座の開催(再掲) → 地域	実施	拡大	拡大
障害のある人へのデジタルツール活用支援(再掲) → 地域	実施	拡大	拡大

○ Web3.0技術の利活用を進めます

産学官連携によるWeb3.0技術の社会実装促進(再掲) → 産業	支援	支援	支援
----------------------------------	----	----	----



### 行政

#### デジタルにより全ての人の利便性向上

デジタル技術は、時間的・空間的な制約を解放し、これまでにないサービスで利便性を向上させます。行政サービスにおいても、オンラインによる申請手続きやキャッシュレス決済、プッシュ通知などの新たな付加価値を拡大する取り組みに拍車をかけていきます。また、マイナンバーカードの交付率が全国で約6割(2023年2月時点)に届く中で、マイナンバーカードを新しい社会基盤とし、これを活用した施策に取り組めます。

- マイナンバーカードを活用したサービス導入に取り組めます
- 行政サービスのデジタル化を拡大します
- データの利活用を推進します
- 防災・減災対策を図ります
- AIを活用した市民サービス向上を図ります
- ドローンやIoT技術等を活用し安全・安心を図ります

→ 6つの大項目、22の小項目(うち、再掲2項目)

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 22項目(うち、再掲2項目)  
「モデル実施」・「検討」にとどまるもの … なし



## 報告事項2 DXアクションプランの進捗について：その他分野(⑤行政)

参考指標 2024年度実績(暫定値)： デジタル戦略(2021～2022年度)で設定した指標をフォロー

暫定値

2022

2023

2024

電子申請による申請数	88,179 件	65,918 件	121,936 件
ローコードツール等の活用	84 件	113 件	114 件
RPA等最新技術の活用による削減時間	11,932 時間	10,764 時間	11,768 時間
紙使用量(プリンター)	1,534 万枚	1,021 万枚	1,043 万枚
デジタル行政推進リーダー数	40 名	60 名	80 名
AIチャットボット利用件数	96,011 件	183,256 件	277,874 件

# 資料1－⑤ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ マイナンバーカードを活用したサービス導入に取り組めます

	2023	2024	2025
マイナンバーカードを活用したスマートサービスの導入(再掲) → 地域	導入	拡大	拡大
マイナンバーカードによる証明等発行サービスの拡大【市民税課】	導入	運用	運用
所得・課税証明書を追加(2023～) 発行件数 2023:837件 2024:7,659件			

## ○ 行政サービスのデジタル化を拡大します

オンラインを活用した相談・指導やイベントの実施 【ダイバーシティ人権政策課、福祉健康センター総務課、保育幼稚園課、金沢マラソン推進課】	実施	拡大	拡大
消費生活相談、特定保健指導、保育に関する相談についてオンライン対応 また、ランニングアプリによる「金沢マラソン」オンライン参加者を募集 2023:2,782名参加 2024:2,798名参加			
クーポンの電子化【子育て支援課】	導入	拡大	拡大
かなざわ子育てすまいるクーポンを電子化(2023～) 新規利用者数 2023:3,440名 2024:3,048名			
電子申請の拡大【デジタル政策課】	拡大	拡大	拡大
2024.10～電子申請サービスを更新し更なる拡大を目指す 2023:65,918件 2024:121,936件			
キャッシュレス決済の拡大【会計課、住宅政策課】	実施	運用	運用・拡大
・財務会計システムのスマホ決済・コンビニ収納件数 2023:661件 2024:2,885件 ・住宅管理システムについてもキャッシュレス決済に対応 2023:221件 2024:1,979件			



## 資料1－⑤ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ 行政サービスのデジタル化を拡大します

2023

2024

2025

## 書かない窓口の導入【市民課】

検討

導入

運用・拡大

2024:スマート窓口システムの改修、顔認証装置を活用した申請書作成支援コーナーの導入

2025:各市民センターにおいても書かない窓口の運用開始予定

## 子育て支援のオンライン化【福祉健康センター総務課、子育て支援課、保育幼稚園課】

—

検討

実施

2025:妊娠届の来庁予約及びアンケートの電子回答、出生連絡票の電子登録、一時預かり施設のオンライン予約に対応予定  
また、市立保育所において、保護者との連絡をオンラインで行うシステムや、キャッシュレス決済を導入予定

## 公共施設等で利用できるデジタル市民パスポートの導入【デジタル政策課】

—

検討

導入

マイナンバーカードに紐付くデジタルIDやスマートフォンを活用し、安心・安全・便利な行政サービスを実現

・登録情報をユーザーカードとして表示し施設利用等に活用

・避難者の入退所受付や避難所での現況を管理

・利用者のニーズに合った情報をプッシュ通知を用いて通知 などを予定

## ○ AIを活用した市民サービス向上を図ります

## 安全安心へのAI技術導入【ダイバーシティ人権政策課、こども相談センター】

開始

拡大

拡大

・特殊詐欺被害のAI解析・通知装置の導入補助(上限11千円)

(2023～2024はサービス提供事業者が導入経費等は無償化しており、補助実績なし)

・児童相談所にAI相談支援ツールを導入(2024.4～)

## チャットボットの拡大【広報戦略課、子育て支援課】

拡大

拡大

拡大

・AIチャットボットの利便性向上 2023:国民健康保険、障害福祉分野を拡充 2024:独自QA数を拡充

・市公式LINEにひとり親家庭向け支援ツールを導入、定期情報配信とともに、チャットボットによる情報検索サービス等を提供

## 資料1－⑤ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

## ○ AIを活用した市民サービス向上を図ります

2023

2024

2025

AI技術を活用した電話対応の向上【地域保健課】

－

導入

運用

AI電話サービスを導入し、性感染症検査予約、電話の取り次ぎにAIが対応(2024.12～)

生成AIを活用した市民サービス向上施策の検討【デジタル政策課】

検討

実施

実施

2023:試行実施、ガイドライン策定

2024:全庁的な環境整備、自治体独自AIを構築し庁内に展開

AI解析によるインフラ保全対策【道路管理課】

－

検討

実施

2025:市パトロール車2台及び民間車両3台に、路面損傷状況をAI判定するドライブレコーダーを設置予定

## ○ データの利活用を推進します

2023

2024

2025

オープンデータの拡充と利活用【デジタル政策課】

拡大

拡大

拡大

2023:2,155件に拡充(+229件)

2024:2,802件に拡充(+647件)

BIツールを活用した市民サービス向上施策の検討【デジタル政策課】

－

検討

実施

2025:庁内データの一元管理、EBPM推進・業務効率化のため、全職員が利用できるBIツールを導入予定

資料1－⑤ DXアクションプラン 2.5.主な具体的取組 の進捗

○ ドローンやIoT技術等を活用し安全・安心を図ります	2023	2024	2025
ドローンやIoT技術を活用した防災・減災【経営企画課、道路建設課、河川水防課】	導入	運用・拡大	運用・拡大
・水管橋等の目視困難な箇所をドローンで調査 2023:18箇所 2024:17箇所 ・主要交差点にクラウド型遠隔漏水監視装置を設置 2023:20箇所 2024:30箇所 ・職員向けにドローン操縦者育成研修を実施し、危険箇所をドローンにより確認 2023:職員10名 2024:職員5名 ・市内水路10箇所に浸水センサーをモデル設置予定(2025～)			
デジタルを活用した除雪体制の強化【道路管理課】	検討	導入	運用
2024:GPS機能の活用により、除雪の進捗状況の見える化を実施 2025:県の広域連携システムを活用し除雪作業状況を情報公開予定			

○ 防災・減災対策を図ります	2023	2024	2025
災害時の情報発信強化【危機管理課】	－	検討	実施
2025:災害情報発信一元化サービスの導入を予定(8ツールが連携)			
避難所運営・管理のデジタル化【デジタル政策課】	－	検討	導入
避難者の入退所受付や現況管理にデジタル市民パスポートを活用			
ドローンやIoT技術を活用した防災・減災(再掲) → 行政	導入	運用・拡大	運用・拡大
ARを活用したデジタルハザードマップアプリの導入【河川水防課】	導入	運用・拡大	運用・拡大
2024:スマートフォンの位置情報を活用し、現在地のハザードマップやARでの洪水による想定浸水深を確認できる かなざわ水害ハザードマップアプリ「にげまっし」の運用を開始			





## 報告事項2 DXアクションプランの進捗について(まとめ)

### 産業

→ 5つの大項目、18の小項目

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 16項目  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … 2項目

### 地域

→ 8つの大項目、16の小項目

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 16項目  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … なし

### 文化

→ 5つの大項目、8つの小項目(うち、再掲1項目)

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 6項目  
「モデル実施」・「検討」となっているもの … 2項目(うち、再掲1項目)

### 教育

→ 7つの大項目、15の小項目(うち、再掲3項目、統合1項目)

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 15項目(うち、再掲3項目、統合1項目)  
「モデル実施」・「検討」にとどまるもの … なし

### 行政

→ 6つの大項目、22の小項目(うち、再掲2項目)

※ 小項目のうち、「実施」・「推進」・「拡大」等にできたもの … 22項目(うち、再掲2項目)  
「モデル実施」・「検討」にとどまるもの … なし

## 資料2 これまでの主な委員提言（令和5～6年度）

### 【アクションプラン等全般】

- ・目新しいバズワードに振り回されず、達成度評価を行い、地に足の着いたアクションプランを目指す。（稲継委員）
- ・アクションプランについて、全体像を示した上で現在の位置を見えるように。（石戸委員）
- ・BIツールなどを活用し、アクションプランのKPIの常時可視化（石戸委員）

### 【人材育成】

- ・各職場でのデジタル行政推進リーダーの貢献やスポットでの全庁的な手伝いなど、彼らのノレッジを生かす仕組みづくりをする必要がある。（稲継委員）
- ・若年層のデジタルリテラシーを底上げし、学びのアウトプットの場創出などの出口戦略を提供（石戸委員）
- ・「金沢ハッカソン」実現に向けた検討を行う。（中沢委員）
- ・開発中のAI開発プラットフォームを活用したAIプログラミング教育の深化（中沢委員）
- ・ITBPにおける中小企業向け各種セミナー（宮内委員）
- ・未来のまち創造館向け各種セミナーの実施（宮内委員）

### 【マイナンバー】

- ・職員証との一体化などの取り組みで職員のカード取得率100%を目指す。（稲継委員）
- ・マイナンバーカード等を活用した災害時の避難所受付や避難所運営などのデジタル化、介護保険の被保険者証の代替え活用や介護認定申請の効率化（宮内委員）

### 【データ・シビックテック】

- ・画像・音声認識を用いた交差点センシングシステムにてテキスト化されたデータを、市や県のオープンデータプラットフォームに蓄積する。(中沢委員)
- ・オープンデータを含めてデータをしっかり生み出す行政に変化する(福島委員)
- ・シビックテックの啓蒙を市民向けにより強化していく(福島委員)
- ・基礎的なデータ利活用研修と相談窓口による伴走を実施(福島委員)
- ・金沢市自身がデータを活用して政策を実施していることを見せていくことで、データ利活用推進者を増やしていく(福島委員)
- ・庁内のデータをダッシュボード化し、職員に公開して様々な事業に生かす。(福島委員)
- ・データを市民に発信するとともに、市民からの意見や苦情等を蓄積し、全庁的な視点で分析等を行い、施策へフィードバックする。(福島委員)
- ・オープンデータを活用した除雪効率化アプリや交通最適化アプリの開発(宮内委員)
- ・メタバースと各種データ(オープンデータや民間事業データ等)を連携して活用(宮内委員)
- ・GIGAスクール端末蓄積データ「心の天気」の分析を金沢大学との産学連携により実施(宮内委員)
- ・主要観光スポットにカメラを設置し、混雑度をマップに反映。  
混雑状況をサイネージ等に表示することで、観光客の行動変容及び満足度向上を図る。(宮内委員)

## 資料2 これまでの主な委員提言(令和5～6年度)

### 【AI】

- ・高齢者支援や観光予約などの事例を参考に、チャットボット等AI技術を活用した市民サービス向上(大島委員)
- ・「食×AI」という分野を中心に検討し、味覚センサを活用した職人の味の分析(宮内委員)

### 【その他DX】

- ・土木や交通、防災など、事業分野やハード分野のDXもどんどん進める。(稲継委員)
- ・大学や民間企業など多様な主体と連携した地域課題解決環境の整備(石戸委員)
- ・新産業産業アイデア創出に金沢IT部活の創造力の活用(宮内委員)
- ・金沢MaaSコンソーシアム&金沢大学&ISAによる産学官共同研究の実施(宮内委員)
- ・DXスクエアのITBPへの移設および活用推進(宮内委員)
- ・ITBPを行ってみたい施設、興味深い施設としていくため、市民にわかりやすいコンテンツを用意(宮内委員)
- ・デジタルミュージアムのメタバースへの進化(宮内委員)
- ・NFTの活用(宮内委員)
- ・金沢IT部活、金沢ロボ活をITBPに統合し常設とする。(宮内委員)

## 議 題

「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について



## 議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

### (1)国及び市のこれまでの動き

国	2020年12月	「自治体DX推進計画」策定 計画期間:2021年1月～2026年3月(約5年間)
	2022年12月	「デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定 計画期間:2023年度～2027年度(5年間)
金沢市	2021年3月	「金沢市デジタル戦略」策定 計画期間:2021年度～2022年度(2年間)
	2023年2月	「金沢市DXアクションプラン」策定 計画期間:2023年度～2025年度(3年間)

議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

(1)国及び市のこれまでの動き

金沢市	2023年12月	金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」議決
	2024年 2月	<div>「未来共創計画」策定</div> <div><div>●5つの基本方針</div><div><div>魅力づくり</div><div>暮らしづくり</div><div>人づくり</div><div>仕事づくり</div><div>都市づくり</div></div><div><div>●横断的視点</div><div>「本市の文化を強みに多様な分野への活用」 「若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力の活用」 「あらゆる分野におけるデジタル化の推進」</div></div><div><div>●計画期間</div><div>10年間 前進期(2024～2025) 充実期(2026～2029) 発展期(2030～2033)</div></div></div>

## 議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

### (2) デジタル化の進展

#### ① スマートフォン・パソコン の世帯普及率

	2020年	2021年	2022年	2023年
スマートフォン	86.8%	88.6%	90.1%	90.6%
パソコン	70.1%	69.8%	69.0%	65.3%

(出典) 令和6年版情報通信白書(総務省)

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/pdf/index.html>

スマートフォンは増加傾向・パソコンは減少傾向

(2)デジタル化の進展

② マイナンバーカード の交付・保有状況

	2020.4.1 令和2年度当初	2021.4.1 令和3年度当初	2022.4.1 令和4年度当初	2023.3.31 令和4年度末	2024.3.31 令和5年度末	2025.3.31 令和6年度末
金沢市	12.3%	24.6%	40.3%	63.9%	74.2%	79.1%
全国	16.0%	28.3%	43.3%	67.0%	73.5%	78.2%
	交付枚数	交付枚数	交付枚数	交付枚数	保有枚数	保有枚数

(備考)「保有枚数」は、現に保有されているカードの枚数  
(交付枚数から死亡や有効期限切れなどにより廃止されたカードの枚数を除いたもの)

(出典)総務省ホームページ・マイナンバー制度とマイナンバーカード  
[https://www.soumu.go.jp/kojinbango\\_card/index.html](https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/index.html)

- ◆マイナンバーカードへの一体化
  - 健康保険証(2021年10月運用開始・2024年12月保険証発行停止)
  - 運転免許証(2025年3月選択制で運用開始)

## (2)デジタル化の進展

### ③ 所得税の申告におけるオンライン(e-Tax)利用状況

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
55.2%	59.2%	65.7%	69.3%

(出典) [国税庁](https://www.e-tax.nta.go.jp/topics/topics_riyozuyokyo/0610pressrelease.pdf)ホームページ  
「令和5年度におけるオンライン(e-Tax)手続の利用状況等について」  
[https://www.e-tax.nta.go.jp/topics/topics\\_riyozuyokyo/0610pressrelease.pdf](https://www.e-tax.nta.go.jp/topics/topics_riyozuyokyo/0610pressrelease.pdf)



## (2)デジタル化の進展

### ④ キャッシュレス決済 の状況

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
民間最終消費支出	288.6兆円	292.0兆円	308.5兆円	322.4兆円	329.8兆円
キャッシュレス決済額 (比率)	85.8兆円 (29.7%)	95.0兆円 (32.5%)	111.0兆円 (36.0%)	126.7兆円 (39.3%)	141.0兆円 (42.8%)

キャッシュレス決済＝クレジットカード・デビットカード・電子マネー・コード決済の合計

(出典)経済産業省ホームページ

「2024年のキャッシュレス決済比率を算出しました」

<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250331005/20250331005.html>

### (3)基本的考え方

国の動向やデジタル化の進展など**社会環境の変化に対応**するとともに、**現行プランの継続性**と**未来共創計画との整合性**に留意しながら策定を進める

(本日の論点)

- ◆ **基本理念** について
- ◆ **行動指針** について
- ◆ **取組方針** 等について
- ◆ 取り組みの **方向性** について

# 議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

## ① 基本理念及び行動指針について

(案)次期プランにおいても継続

### 2.1. 基本理念

全ての人が便利に暮らし、  
幸せを実感するまちへ

「全ての人が便利に暮らし幸せを実感するまち」をめざし、DXによる質の高いサービスを創り続けることで、地域の幸福度や、まちの持続可能性を高めていきます。

### 2.2. 行動指針

プランの実践・推進にあたり、次の行動指針に基づき取り組みます。

市 民 目 線 市民の利便性向上に取り組みます

ス ピ ード 感 社会の変化に迅速に対応して取り組みます

チ ャ レ ン ジ できることから積極的に取り組みます

成 果 検 証 成果と検証を重視して取り組みます

デジタルファースト デジタルの活用を前提に取り組みます

# 議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

## ② 取組方針等について

### 2.3. 取組方針

基本理念であるデジタルにより「全ての人が便利に暮らし、幸せを実感する」ための取り組みを推進します。

DXによる「デジタル社会」を切り開くため、本市がこれまで築いてきた大切な資産を最大限活用することとし、4つの分野で重点的に施策を展開していきます。

文化

地域

教育

産業

行政

## (案)未来共創計画との整合性を確保

### 次期プラン

#### 推進期間

2026年度～2029年度(4年間)

→未来共創計画「充実期」に同じ

#### 取組方針

魅力づくり

暮らしづくり

人づくり

仕事づくり

都市づくり

→未来共創計画の基本方針に同じ

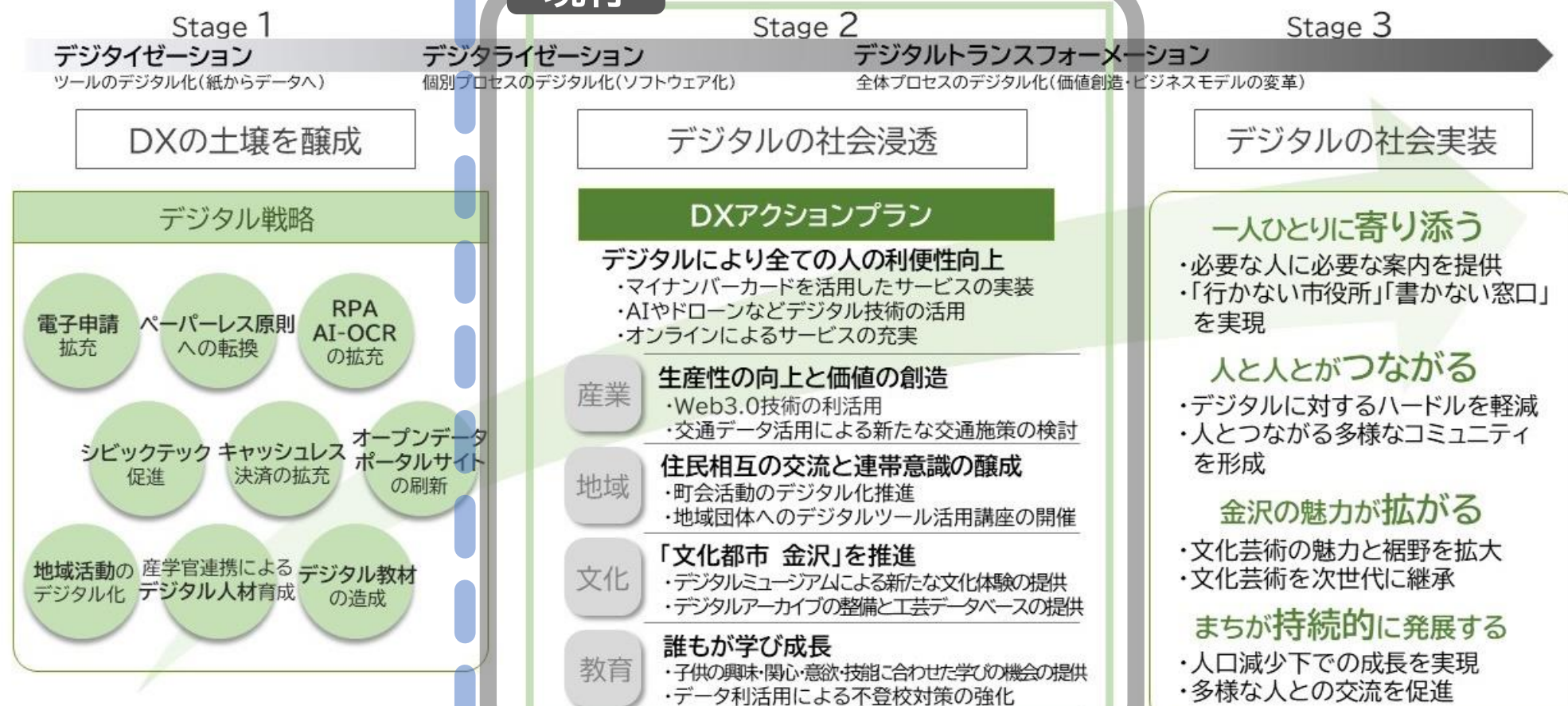
# 議題 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

## ③ 取り組みの方向性について

## (案)社会環境の変化への対応

### 次期プラン

#### 2.4. 取り組みの方向性





## 令和7年度 金沢市DX会議 スケジュール(予定)

5月

DX会議① 「次期DXアクションプラン(案)」策定の考え方について

6月

委員提言(6月中) ※任意

7月

8月

DX会議② 「次期DXアクションプラン(案)」の検討 ～委員提言を踏まえて～

9月

10月

DX会議③ 「次期DXアクションプラン(案)」の検討

11月

パブリックコメント実施(11月頃)

12月

1月

DX会議④ 「次期DXアクションプラン(案)」の取りまとめ

年度内に次期DXアクションプランを策定